

## 「身体運動文化フォーラム」創刊にあたって

教室代表 溝畑 寛治

関西大学「身体運動文化フォーラム」創刊号発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

既にご承知おきいただいておりますように、関西大学の体育教育は、建学の理念である「学の実化」すなわち「学理と実際の調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育の奨励」に支えられてのことであり、正課体育、課外体育ともに、関西の、いや日本の体育・スポーツ界をリードしてまいりました。

2003年度からはスポーツとからだの問題を通して、21世紀型人間関係行動学を学ぶ新しい学部教育を補完する制度としてインターファカルティ教育「生涯スポーツ・身体運動文化コース」が開設されました。また文学部の改革に伴って、2004年度には「現代的スポーツ文化」「伝承的身体運動文化」「生活的健康福祉文化」を通して21世紀社会にふさわしい文武両道に長けた総合型人間関係が構築できる学生の育成を目指して「身体運動文化専修」が設置されました。この専修をより発展させていくためにもこの「身体運動文化フォーラム」の充実が重要となります。次年度からは学生の卒業論文も掲載されます。投稿者が益々増えますことを願うとともに斯界をリードする刊行物として成長していくことを願っています。

とき、同じくして本教室では本学の体育教育に永年にわたりご尽力いただきました青木積之介教授が定年退職を迎えられることとなりました。本誌は創刊号であり、青木教授の退職記念号として発刊させていただくこととなりました。

青木積之介教授は、昭和41年4月1日に本学文学部専任講師として着任され、その後、平成12年に「65歳」の定年に到達され、体育学教室の定年延長申請を経て、今日まで40年間の永きにわたって教育・研究に専念されてこられました。同氏は教育面において、全国的なモデルカリキュラムになっている本学の「基礎体育学」「スポーツ研究」「応用体育学」などの実践研究にもとづく授業担当を通して着実な成果をあげてこられました。また研究面では専攻のスポーツ方法学、体育方法学をはじめ、走運動の科学的実践・陸上競技長距離走の文化的研究分野において精力的に取り組まれ堅実な実績を蓄積し、関係筋に高く評価されています。

同氏はこれまでの在職期間中に、教室人事委員、文学部学生主任、学生部長代理等を歴任され、また課外教育活動においても本学陸上競技部のコーチならびに顧問として活躍され、その間における選手育成と実践研究フィールドワークにおいても顕著な業績を数多く残されています。また社会活動面においても、同氏の専門分野における経験と実績を高く評価されて、NHK近畿地方放送番組審議委員や神戸市教育委員などを務められ、研究成果の社会への還元という側面においても幅広く貢献してこられました。

今次の教養教育改革の問題、全学的な期待を担っての「インターファカルティ教育」、文学部改革に伴っての「身体運動文化専修」の充実など、尚一層の専門性と高度な研究成果を要求される時期に青木積之介教授の退職はたいへん残念なことでありますが、今後も何かとご指導、ご支援賜りますようお願いするとともに、先生がいつまでもお元気で活躍下さいますことをお祈り致しております。

最後になりましたが、創刊号発刊にご尽力くださいました文学部をはじめ多くの関係部署・関係諸氏に感謝を申し上げご挨拶とさせていただきます。